

航海番号	レグ	調査海域	航海期間	使用機器	首席研究者 次席研究者	課題提案者	プロポーザルNo.(JS:所内、S:公募) 課題名
YK17-07		相模湾 駿河湾	4/2 ~ 4/19	しんかい6500	飯嶋 一樹 (JAMSTEC)		6K訓練潜航
YK17-08		相模湾 駿河湾	4/22 ~ 4/26	うらしま	大美賀 忍 (JAMSTEC)		うらしま試験訓練潜航
YK17-09C		伊豆小笠原	4/29 ~ 5/6	うらしま	浅田 昭 (東京大学)	月岡 哲 (JAMSTEC)	C17-22④ 海洋鉱物資源広域探査システム開発の集中観測～ 合成開口ソナー実用化試験～
YK17-10		西マリアナ海嶺	5/13 ~ 5/27	しんかい6500	塚本 勝巳 (日本大学)	塚本 勝巳 (日本大学)	S17-04 ウナギの産卵生態の解明
-	-	-	5/28	-	-	-	サイパン停泊
YK17-11C		南鳥島周辺	5/29 ~ 6/14	しんかい6500	町田 嗣樹 (JAMSTEC)	木川 栄一 (JAMSTEC)	C17-18 戦略的イノベーション創造プログラム:次世代海洋 資源調査技術(海のジパング計画) 「海洋資源の成因に関する科学的研究」による南鳥 島周辺マンガノジュール広域調査
YK17-12C		伊豆小笠原	6/17 ~ 6/20	うらしま	篠原 雅尚 (東京大学地震 研究所)	月岡 哲(JAMSTEC)	C17-22③ 海洋鉱物資源広域探査用海中重力探査システムの 開発
YK17-13		三陸沖日本海溝	6/26 ~ 7/3	ディーブ・トウ	山野 誠 (東京大学・地震研究 所)	山野 誠 (東京大学・地震研究 所)	S17-12 電気伝導度構造探査による、日本海溝に沈み込む 海洋地殻の破碎と間隙流体循環の研究
YK17-14	1	西之島周辺	7/6 ~ 7/10	ディーブ・トウ	田村 芳彦 (JAMSTEC)	田村 芳彦 (JAMSTEC)	S17-13 「たいりくプロジェクト」ディーブ・トウによる土曜海山 および海形海山の調査
YK17-14	2	小笠原海溝	7/11 ~ 7/15	しんかい6500	田村 芳彦 (JAMSTEC)	田村 芳彦 (JAMSTEC)	JS17-03 IODP前弧マントル掘削計画事前調査:小笠原海溝 陸側斜面の地質調査
-	-	-	7/17	-	-	-	晴海停泊 7/17一般公開
YK17-15	1	相模湾	7/18 ~ 7/21	じんべい	南部 喜信 (JAMSTEC)		じんべい試験訓練潜航
YK17-15	2	回航	7/22 ~ 7/22		立田 学 (JAMSTEC)		賛助会員の体験乗船
-	-	-	7/23	-	-	-	神戸停泊 7/23一般公開
YK17-16C	-	南西諸島	7/24 ~ 7/30	-	高橋 努 (JAMSTEC)	小平 秀一 (JAMSTEC)	C17-14④ 南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト:巨大地震 発生域調査観測研究 1 広帯域自然地震観測・海域構造調査
-	-	-	7/31 ~ 8/1	-	-	-	那覇停泊
YK17-17	-	多良間海丘	8/2 ~ 8/6	しんかい6500	牧田 寛子 (JAMSTEC)	牧田 寛子 (JAMSTEC)	S17-19 多良間海丘「酸化鉄皮膜地帯」での鉄利用微生物 の生態系とそれらの微生物活動を支え得る環境因 子の解明 2017
-	-	回航	8/7 ~ 8/10	-	-	-	台風避泊
YK17-18C	-	沖縄トラフ	8/15 ~ 9/6	ディーブ・トウ じんべい	笠谷 貴史 (JAMSTEC)	木川 栄一 (JAMSTEC)	C17-06④ 自然電位および電気・電磁探査による資源探査手 法プロトコルの確立
YK17-19	-	日本海溝	9/11 ~ 9/18	OBS	尾鼻 浩一郎 (JAMSTEC)	小平 秀一 (JAMSTEC)	JS17-13② 海溝型巨大地震・巨大津波:実態解明に向けた地 質・地球物理調査研究 3. 海溝軸からアウターライズにおける地震観測
YK17-20	-	相模湾	9/22 ~ 9/26	ゆめいるか	大田 豊 (JAMSTEC)	大田 豊 (JAMSTEC)	JS17-05 自律型無人探査機「ゆめいるか」の性能評価及び 実運用評価に関する潜航試験
	-	茨城沖	9/27 ~ 9/28	水中グライダー	石原靖久 (JAMSTEC)	石原靖久 (JAMSTEC)	JS17-01 長期定域観測用水中グライダーの大深度定域連続 観測実験
YK17-21C	-	伊豆小笠原	10/2 ~ 10/7	ディーブトウ	浅川 栄一 (地球科学総合研究 所)	月岡 哲 (JAMSTEC)	C17-22⑦ 科学技術試験研究委託事業 海洋鉱物資源広域 探査システム開発(新基盤ツール) パーティカルケーブル方式反射法地震探査(VCS) システムの開発

